

ICANNの下でIPアドレスやAS番号などインターネットの番号資源割り当 てを行うRIRの1つ。南北アメリカ、サハラ以南のアフリカを受け持つ

ARINは、ICANNのもとでIPアドレスやAS番号などのインターネットの番号資源を割り当てる3つの地域インターネットレジストリ(RIR:Regional Internet Registry)の1つで、現在は南北アメリカ、サハラ以南のアフリカを受け持っている。


ARINの母体となっているのは、IPアドレス、ドメイン名の登録割り当てすべてを

 www.arin.net

問い合わせ先

ARIN

 hostmaster@arin.net

 +1-703-227-0660

 +1-703-227-0676

元々管理していたInterNICである。それからRIPE NCC、APNICとInterNICの3つのRIRでIPアドレスの割り当てを管理していた時代を経て、1997年にはInterNICからIPアドレスやAS番号などの管理業務だけを抜き出し、ARINとして活動を始めた。

2001年の大きな動きとしては、数年前から設立に向けた準備が行われていたカリブ諸国と南米を受け持つLACNIC (Regional Latin-American and Caribbean IP Address Registry) の設立が正式にICANNから承認されたことが挙げられる。5月現在はまだIPアドレス申請の精査は最終的にARINでも行われているが、

LACNICが自律的に業務遂行が可能だと判断された場合には、カリブ諸国と南米はARINの受け持ちから外れ、LACNICの受け持ちとなる。

ARINでもほかのRIRと同様にパブリックなメーリングリストを用いてワーキンググループ(WG)を組織し、ポリシーの検討をはじめ、さまざまなトピックの議論を行っている。さらに半期に一度、4日間ほどの会期のミーティングを持ち、総会とこれらWGミーティングを中心としたパブリックポリシーミーティングを実施している。2002年10月には、初の試みとして NANOG (North American Network Operators' Group) との合同ミーティングが行われる予定である。

(前村昌紀 フランステレコム・ロングディスタンス/JPNIC理事)

アジア太平洋地域のインターネット諸組織の連携を強め、合同の事務局が必要であればその方向を追求する

APスターと呼ぶこの組織は、1998年にアジア太平洋地域のインターネット諸組織の活動が、より効果的に進むようにするためのメーリングリストを作ることから始まった。メンバーは次の組織の主要な活動家(議長、事務局長、理事などの経験者)からなり、年々増加している。

APNG: 学術研究用ネットのグループが基盤になった、地域の最初の組織

APNIC: IPアドレス管理組織

APTLD: トップレベルドメイン名組織

APIA: 産業とビジネス関係の協会

APAN: 高度な次世代研究ネット組織

APPL: 政策と法制に関するメーリングリ

スト

APRICOT: 運用技術に関する会議

APDIP/PAN/IDRC: 途上国支援のプログラム

INFITT: タミール人国際ITフォーラム

APBioNet: 生物情報学ネット

ccTLD: 国名ドメイン名

AI3: 衛星利用で国際間研究ネット推進

これらの組織の連携を強め、合同の事務局が必要であればその方向を追求する。これらの組織のうち、法人格をもつものは、APNG、APNIC、APIAなどに限られており、経営上の余裕はない。

APスターの会議は、2000年3月に

APRICOTソウル、7月に横浜、10月にバンコク、2001年3月のAPRICOTクアラルンプールと開催されて、この地域のインターネットの発展をさらに進めるために必要な項目を討議してきた。その中でAP-ISOCを作ってはどうか、また、地域ドメイン名のasiaの制定をICANNに提案するのはどうかなどの話題が出ている。韓国に合同事務局を置く。今回は2002年8月に上海のAPAN会議に続いて2003年3月に台北のAPRICOT2003の際に開かれる予定である。参加している日本人は、APANから後藤滋樹、小西和憲、JPNIC/ASOから荒野高志、APIA/DNSOから堀田博文、ICANN/JPNIC/WIDEの村井純、AI3の山口英などの諸氏。筆者もAPNICの元議長、APIAの会長として参加している。

(高橋徹 株式会社インターネット戦略研究所)

 www.apstar.org



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp